

消化管内科・小児科を受診している患者さんとそのご家族の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

| | |
|--|--|
| 研究課題名 | 消化管過誤腫性腫瘍好発疾患群の全国疫学調査 |
| 研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者) | 愛知医科大学病院 病院長 道勇学 |
| 研究責任者 | (担当科)消化管内科 (職名)教授(特任) (氏名)佐々木誠人 |
| 試料・情報の利用目的 及び利用方法 | <p>〔利用目的〕 Peutz-Jeghers 症候群または若年性ポリポース症候群の患者数、臨床症状、治療法とその効果、予後を調査し、本疾患の病態の解明、治療法の確立に役立てることを目的とした研究です。</p> <p>〔対象となる患者さん〕 2019年1月1日から2021年12月31日までに Peutz-Jeghers 症候群または若年性ポリポース症候群について医療を受けられた方</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2024年3月31日</p> <p>〔利用方法〕 診療記録から情報を収集し、個人が同定できないよう匿名化した調査票を京都府立医科大学 分子標的癌予防医学 大阪研究室内 有限会社メディカル・リサーチ・サポート(大阪市中央区高麗橋 3-1-14 高麗橋山本ビル 6F)に郵送します。そして臨床症状、治療とその効果、予後との関係性について検討します。</p> <p>なお、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。希望される場合は下記にご連絡ください。</p> |
| 利用又は提供する試料・情報の項目 | 情報：診断名、年齢、性別、検査結果、治療内容、合併症等 |
| 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名 | 愛知医科大学病院 病院長 道勇学 |
| 提供する試料・情報の取得の方法 | 情報：カルテから診療情報(診断名、年齢、性別、検査結果、治療内容、合併症等)を取得します。 |
| 提供する試料・情報 | 信州大学医学部 小児医学教室 中山 佳子 |

| | |
|-------------------------------|---|
| を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名 | |
| 利用する者の範囲 | 信州大学医学部 小児医学教室 中山 佳子 |
| 試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合 | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年7月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。 |
| 問い合わせ先 | 愛知医科大学医学部 内科学講座 消化管内科 担当者:(職名)教授(特任) (氏名)佐々木誠人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線 23480) |